

7月の学校生活の様子から

7月1日(火)～2日(水)にかけて、5年生がキャンプに行ってきました。6月に、飯ごう炊さんの練習や食材の買い出しなど、自分たちができることをできる限り準備して本番を迎えました。厳しい暑さの中でしたが、今年もさらしな楽校の講座の一つとして実施した1日目の冠着山登山には、11名もの地域や保護者の方々が同行してくださり、5年生の子どもたちと交流しながら全員無事に山頂まで登り切ることができました。

その昔、修験僧の修行場として有名だった冠着山の山頂では、子どもたちの願い事を書いた護摩木を炊き上げる「護摩行」を山伏姿の工藤さんがやってくださったり、塚原さんが冠着山の成り立ちや姨捨棚田の起源について説明してくださったり、森さんが弾くウクレレに合わせて全員で校歌を歌ったりするなど、ふだんはなかなか味わえない貴重な経験をすることができました。また、下山後にはみんなで取り組んだ飯ごう炊さんやキャンプファイヤーに、一緒に同行した保護者の方々も何人か参加してくださったので、これもまた子どもたちにとって貴重な経験になりました。

友達と一緒に泊まったこと、姨捨棚田の水源地を見学して美味しい水を飲んだことなども含め、更級小学校の5年生だけが体験できる貴重な経験をたくさん味わうことができた、すてきな2日間になりました。



7日(月)には3・4年生が島田先生から書写の指導を受け、夏休み明けに応募するJA書道展に向けたいい練習の時間になりました。また、同じ日に6年生は租税教室を受けました。上田法人会の方々による授業で、毎日何らかの形で私たちが納めている税金の大切さについて、しっかり学ぶことができました。



8日(火)から11日(金)にかけて、児童会が主催した「さらしなイベント」が行われました。2時休みになると、校舎内のあちこちに6年生が考えた遊びのコーナーが開かれ、1～5年生は自分が行きたい場所に行って遊ぶという企画です。PK対決、だるまさんが転んだ、輪投げなどのコーナーに、毎日たくさん子どもたちが集まって楽しそうに遊んでいた姿がとても素敵でした。

15日(火)には、ちくま未来フェスタの担当者2名(伊藤さん、南沢さん)が来校し、本校の子どもたちにバスケットボールとドッジボールの公認球を各4個ずつ贈呈してくださいました。毎年5月に行われている「ちくま未来フェスタ」は、地域の未来を担う子どもたちのために開催されていて、今年で6回を数えるそうです。その余剰金を活用して、今年は3つの保育園に絵本を贈呈し、本校には事前に希望したバスケットボールとドッジボールを寄贈してくださいました。地域のバスケットボールクラブやドッジボールクラブに通う子どもも本校には多いので、大切に使用させていただきたいと思います。ありがとうございました。

(来年度は、5月23日にあんずホールで開催予定だということです)



1 学期終業式「校長講話」より

(前略) さて、みなさんはこの人を知っていますか？ この人は、ウォルト・ディズニーという方です。ディズニーランドやディズニーシーなどのディズニーリゾートをつくった人でもあり、みんなが知っているミッキーマウスをはじめとした多くのキャラクターの生みの親です。

ディズニーランドにある「カリブの海賊」というアトラクションを基にして作られた、『パイレーツ・オブ・カリビアン』という映画は有名ですが、カリブの海賊を考えたディズニーは、次のような言葉を残しているので紹介します。

宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、「？」には多くの宝が眠っている。そして何よりも、宝を毎日味わうことができるのだ。

では、ここで問題です。「？」の中には、どんな言葉が入るでしょうか？

①海 ②本 ③カレーライス ①の「海」だと思ふ人。②の「本」だと思ふ人。③の「カレーライス」だと思ふ人。正解は、「宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、**「本」**には多くの宝が眠っている。そして何よりも、宝を毎日味わうことができるのだ。」②の「本」が正解です。この言葉には、「本は、宝を手にした時のような楽しいこと、嬉しいこと、ワクワクすることがたくさんある、魅力いっぱいなものなのだ」という意味が込められています。ちなみに、更級小学校で本という宝が一番たくさんある場所はどこか分かりますね？ そう図書館です。

続いて、ここで2つ目の問題です。更級小学校の図書館には、何冊の本があるのでしょうか？



①384冊 ②11,116冊 ③約4,800万冊 ①の384冊だと思ふ人？ ②の11,116冊だと思ふ人？ ③の約4,800万冊だと思ふ人？ ①の「384冊」は、更級小学校で昨年1年間に買った本の数なので、①ではありません。正解は②の「11,116冊」です。2学期も、1万冊以上の宝の山がある図書館を、たくさん利用してくださいね。ちなみに③の「約4,800万冊」は、日本で一番本が揃っている国立国会図書館にある本の数です。ここには、日本で出版されているほとんどすべての本が揃っていて、新しい本は毎年出版されているので、国立国会図書館の本は毎年約80万冊ずつ増えているそうです。

今年度更級小学校の先生方は、授業の調べ学習などで図書館をたくさん使おうと計画しています。10月には、他の学校の先生方が図書館を使った授業の様子を見に来ることになっているので、時間にゆとりがある夏休みには、多くの宝が眠っている本の世界に、みなさんもたくさん触れてほしいと思います。猛暑対策のため、昨年度から夏休み中は学校の図書館を開館しなくなりましたが、家に読む本がないときは、校長先生のように地域にある戸倉図書館や更埴図書館などの公立図書館へ出かけて、本を借りてみたらどうでしょうか。指でページをめくりながら本を読むと、頭の中で本の世界を思い描くことができたり、ネットで調べるよりもずっとわかりやすかったりするので、オススメです。

最後に、夏休みに事故や事件に巻き込まれないため、みなさんが気をつけることを今年も確認します。「いかにおすしを必ず守る」「熱中症予防に気をつける」「水の事故に注意する」「ネットのトラブルに巻き込まれないようにする」これらに十分気をつけ、安心して安全な夏休みを過ごしてください。8月26日には、みなさんの元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。これで校長先生の話は終わります。

※4月14日から育児休暇を取得していた小澤直矢先生が、2学期から4年担任として復帰します。それに伴い、担任代理を務めていた倉石教頭先生が2学期から本来の教頭業務に戻るため、教頭代理を務めていた塩野入崇先生の兼務期間が1学期終業式をもって終了となり、2学期からは本来の屋代中学校勤務となります。1学期の間だけでしたが、塩野入先生には大変お世話になりました。ありがとうございました。

夏休み中の緊急連絡について（保護者の皆様へのお願い）

※次のような場合は、休み中でも必ず学校(275-0052)へ電話をしてください。なお、夜間や休日で学校職員が不在の時は公用携帯に転送されます。(設定の都合上、12回コール後に転送されるのでお待ちください)

※転送されてもすぐ電話に出られない場合は、後ほど「090-2196-5416」の番号から折り返します。

- ① お子さんが、入院が必要なケガや病気になった場合。
- ② 2学期始業式を休む必要がある、各種感染症に罹患した場合。

※「2学期始業式を休む必要がある各種感染症への罹患」とは、「8月21日(木)以降に罹患した場合」です。それ以前に罹患した場合、特に報告する必要はありませんので、あらかじめご承知おきください。